

とき

vol.15

池田まつをさん

内野トシさんが

100歳

池田まつをさんと内野トシさんが100歳の誕生日を迎えました。

池田まつをさんは3月1日に100歳の誕生日を迎えました。

池田さんは明治40年生まれで福井県出身。好物は炭酸飲料で「元気の源」とのこと。現在は子どもと孫、ひ孫が合わせて13人います。

この日池田さんは、入所中の志佐町の特別養護老人ホーム愛光園で家族や入所者に祝福され、友広市長からお祝いの言葉や花束を受けました。二女の大橋久美子くみこさん（名古屋在住）は「母が元気な姿で100歳のお祝いができてうれしいです」とお礼を述べました。

内野トシさんは3月23日に100歳の誕生日を迎えました。

内野さんは、明治40年生まれで江迎町出身。子どもと孫、ひ孫が合わせて20人います。

この日内野さんは、入所中の星鹿町の養護老人ホーム海光園で入所者などに祝福され、友広市長からお祝いの言葉や花束を受けました。「好き嫌いなく何でも食えることが健康の秘けつ」と内野さんは、100歳を元気に迎えられたことを喜んでいました。

これで、市内の100歳以上の人は2人を合わせて13人になりました。



▲内野 トシさん



▲池田 まつをさん

## 中学生が アルミ缶回収金を贈る

市内の7つの中学校でつくる市内生徒代表者が3月19日、アルミ缶回収の収益金を養護老人ホーム海光園（大内康史理事長）に贈りました。

市内の全中学校では平成10年度から、アルミ缶を生徒や地域の住民が持ち寄ったり、清掃活動をしたりして回収に取り組み、市内の施設に寄付などを行っています。

この日は、生徒代表5人が海光園を訪れ、入所者に今年度の収益金を手渡しました。生徒たちは「生徒会新聞や集会で呼びかけて集めました。地域の役に立つ活動を続けていきたいです」とあいさつ。海光園相談員の梅崎規のりさんが「車いすを購入し、大事に使わせていただきます」とお礼を述べました。



## 第17回松浦観光写真コンテスト

第17回松浦観光写真コンテストの審査が3月14日、市役所で行われ、上位の作品が決定しました。

松浦市観光協会が毎年実施しているもので、今回は34点の応募があり、同協会の小松英史会長など6人が審査しました。最優秀賞には佐世保市の長浦敏雄としおさんが土谷棚田で撮影した「光芒」が選ばれました。

最優秀賞以外の上位の作品は次の通りです（敬称略）。4月20日まで市役所ロビーに展示されます。

- 【優秀賞】**
- ・「志佐川夏祭り」 小川美喜雄（佐世保市）
  - ・「春の展望台」 金子 善憲（佐世保市）
- 【入選】**
- ・「満天の花火」 古賀嘉代子（佐々町）
  - ・「休息」 松井 節子（佐世保市）
  - ・「手作業で」 長浦 敏雄（佐世保市）



九州で初!

## オーライ！ニッポン大賞グランプリ受賞 NPO法人体験観光ネットワーク松浦党・ 松浦体験型旅行協議会の2団体

都市と農山漁村の交流で活躍する団体を表彰する「オーライ！ニッポン大賞」のグランプリ（内閣総理大臣賞）に、松浦市を中心に活動する「NPO法人体験観光ネットワーク松浦党」（村田嘉久理事長）と「松浦体験型旅行協議会」（会長・友広松浦市長）の2団体が選ばれ、3月14日に東京都で表彰を受けました。

両団体は、北松浦半島地域を舞台に、自然を生かした体験プログラムと民泊体験をセットにした体験型観光で修学旅行生の受け入れに取り組んでいます。「体験型教育旅行の先進事例であり、地域住民に無理のない形で活動が組み立てられていて、今後の展開が大いに期待される」などと高い評価を受けました。

村田理事長と協議会副会長の上松シズエさんは「受賞は会員みんなの協力のたまもの。今後も子どもたちとのふれあいを大切に活動していきたいです」と話していました。



▲村田理事長（右）と上松副会長（左）



長崎新聞社提供

◀  
グランプリの表彰を  
受ける友広市長